

平成 28 年度	<b>総合政策部の取り組み実績</b>
	<部の構成> 企画課、ひらかた魅力推進課、行革推進課

## 1. 重点施策・事業

### (1) 総合計画・総合戦略の進行管理について

重点施策・事業 における目標	<p>長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的な行政運営を行うため策定した「第5次枚方市総合計画」や、まち・ひと・しごと創生法に基づく本市が講ずべき今後5か年の取り組みを定めた「総合戦略」の推進に向けて、新たに構築する施策評価制度に基づき、計画期間の取り組みの進捗状況を適切に検証・評価し事業の改善や見直しにつなげていくことで、計画や戦略に掲げる施策を着実に実施していきます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>「第5次枚方市総合計画」及び「総合戦略」を適切に検証・評価する新たな施策評価制度を構築します。また、人事・財政・行政改革の基本方針と連動した評価サイクルとすることで、計画の実行性を高めていきます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：263 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>「第5次枚方市総合計画」及び「総合戦略」を適切に検証・評価する新たな施策評価制度について、学識経験者等から専門的な視点で助言をいただきながら検討を進め、12月に構築しました。（運用開始は平成29年度～）今後、この制度を人事・財政・行政改革の基本方針と連動した評価サイクルとし、計画の実行性を高めていきます。</p> <p>平成 28 年度決算：125 千円</p>
取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ○ 】</span>	

### (2) 市長の特命事項の推進

重点施策・事業 における目標	<p>①定住促進や人口誘導を推進するため、さらなる取り組みの具体化に向けた調整・検討を行うとともに、あわせて、本市の特徴や魅力を市内外の人に情報発信します。</p> <p>②ふるさと寄附金を促進するため、返礼品の送付を実施するとともに、寄附金の使途を情報発信します。</p>
-------------------	---

<p>平成 28 年度の 取り組み</p>	<p>①定住促進や人口誘導の推進を図るため、関係部署と効果的な取り組みの実施に向けた調整・検討を行います。あわせて、特に転出者が多い 20 歳から 40 歳台前半の年齢層を対象として、本市の魅力等を情報誌に掲載するとともに、リーフレットを作成し、市内外に発信します。</p> <p>②ふるさと寄附金を促進するための返礼品の送付を 7 月から実施するとともに、年度末までにさらなる返礼品の拡大や民間ポータルサイトを活用した運用を開始します。さらに、寄附金の使途については、ホームページを通じてわかりやすく説明します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：①2, 200 千円 ②1, 200 千円</p>
<p>平成 28 年度の 実績</p>	<p>①定住促進や人口誘導の推進を図るため、定住促進・人口誘導対策検討委員会を設置し、効果的な取り組みの実施に向けて調整・検討を進め、健康・子育て等に係る新規事業や、今後の対応等をまとめた報告書を 11 月に作成しました。</p> <p>また、効率的・効果的に情報発信を行うため、広報アドバイザー等から意見をいただきながら、転出者が多い 20 歳から 40 歳台前半の年齢層を対象として、本市の妊娠、出産、子育て支援等に係る施策をまとめたリーフレットを作成しました。</p> <p>②寄附額を増やすための方策として、個人の寄附者に返礼品を送付する取り組みを開始することとし、速やかに対応するため、第一次運用として、平成 28 年 7 月から 14 品の返礼品を用意し、1 万円以上の寄附に対する返礼品の送付を試行実施しました。更に第二次運用として、12 月 1 日の寄附受付分から寄附額に応じた返礼品のグレードを 4 段階設け、一般公募により返礼品を 111 品目に拡充するなど、本格実施するとともに、インターネットサイトを運営する事業者と委託契約を行い、広く寄附者への周知を行いました。また、寄附金の使途についての説明は、ホームページを通じ行いました。今後、さらに目的や使途が明確に伝わるようなレイアウト構成を目指し、取り組みを進めていきます。</p> <p>平成 28 年度決算：①2, 041 千円 ②58, 808 千円（※補正予算等の対応あり／その他関連経費あり）</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	
<p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

### (3) 予算編成過程等の公表

<p>重点施策・事業 における目標</p>	<p>市が現在抱えている課題を効果的に解決していくためには、行政と市民や市民団体などが信頼関係を高め、協働によるまちづくりを進めていくことが必要であるため、新たに行政の情報を公表し、共通の課題認識を持つことで、解決の促進を図ります。</p>
---------------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	行政運営の最も重要となる予算編成や実行計画の査定に係る資料を新たに公表するとともに、市長への提言の公表頻度を月 1 回に拡充することや、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗を、年度の途中でホームページにおいて公表していきます。
平成 28 年度の 実績	5 月にホームページのトップに専用バナーを設け、実行計画及び予算、市長への提言、部の運営方針、審議会、特別顧問等及び戦略会議に係る情報を順次更新しました。また、より早期に共通の課題認識を持ち解決の促進を図るために、年度の間（10 月）に、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗状況についても公表しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

#### （４）事務事業・補助金の見直し

重点施策・事業 における目標	納税義務者の減少等により、市税収入の大幅な増加が見込めないことが予測されている中、今後も健全な財政運営を図りながら、人が集まるまちづくりをめざして、多くの施策を着実に実行していく必要があります。 こうした状況を踏まえ、全ての事務事業・補助金を対象に、見直しに向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	全ての事務事業・補助金について、より効率的・効果的な執行を図るため、公益性、必要性、公平性等の観点から検証を行い、そのあり方や方向性を決定する仕組みを構築し、事務事業・補助金の見直しを進めるとともに、その結果を平成 29 年度当初予算へ反映します。また、補助金については、サンセット方式を導入するなど、定期的に検証、見直しを行う仕組みを構築します。
平成 28 年度の 実績	9 月に「事務事業の見直し実施方針」、「補助金の見直しに関する方針」を策定し、それぞれの方針に基づき、事務事業および補助金の見直しを実施した結果を「事務事業・補助金見直し計画（平成 29 年度～平成 31 年度）」に取りまとめました。 平成 31 年度までに休廃止・改善する事務事業・補助金は 55 件となり、効果額は一般財源で 433,386 千円（うち、一般会計分 432,615 千円）となりました。 今後も引き続き、計画の推進を図るとともに、新たに発生した事務事業・補助金の見直しについても、計画に反映していきます。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## 2. 行政改革・業務改善

### (1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
1. 使用料・手数料の見直し	受益と負担の公平性を確保するため、施設の使用料や手数料の基本的な考え方である設定基準を策定する。
実績	施設使用料や手数料の基本的な考え方である設定基準の策定に向けた調査・検討を進め、課題や考え方の整理等を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	平成 27 年度に策定した「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、保健センター及び市立ひらかた病院の来庁者・利用者用駐車場の有料化を実施する。また、同考え方を踏まえ、その他の施設についても、有料化に向けた検討を行う。
実績	平成 27 年度に策定した「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、平成 28 年 8 月に保健センター・市立病院を、平成 29 年 1 月に市役所駐車場（庁舎別館）を有料化した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
6-1 市税等の収入確保 (ふるさと寄附金の推進)	ふるさと寄附金について、本市に寄附をしていただいた方に返礼品を送付する等により寄附額の増加をめざす。
実績	平成 28 年 7 月から 14 品の返礼品を用意し、1 万円以上の寄附に対する返礼品の送付を試行実施した。更に、12 月 1 日の寄附受付分から寄附額に応じた返礼品のグレードを 4 段階設け、一般公募により返礼品を 111 品目に拡充するなど、本格実施に移行した。 <寄附額(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)> 130,569 千円 (内 12 月分 116,436 千円)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
12. 事務事業・補助金の見直し	全ての事務事業・補助金について、公益性、必要性、公平性等の観点から検証を行い、そのあり方や方向性を決定する仕組みを構築し、事務事業・補助金の見直しを進めるとともに、その結果を平成 29 年度当初予算へ反映する。また、補助金については、サンセット方式を導入するなど、定期的に検証、見直しを行う仕組みを構築する。
実績	「事務事業の見直し実施方針」及び「補助金の見直しに関する方針」を平成 28 年 9 月に策定し、見直しに仕組み、平成 31 年度までに見直し等を行う事務事業・補助金の取り組み内容やそれに伴う効果額を示した「事務事業・補助金見直し計画」を平成 29 年 1 月に策定した。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
13. マイナンバー制度の積極的活用	効率的・効果的な行政運営とさらなる市民サービスの向上を図る観点から、マイナポータル（*）のお知らせ機能や個人番号カードの利活用、マイナンバーの利用範囲の拡大など積極的な活用を検討する。 *マイナポータル：パソコン等を利用して行政機関が自分のマイナンバーの情報をいつ、どことやりとりしたのかを確認できたり、行政機関から自分に対しての健診案内等のお知らせ情報を確認できるサービス（平成 29 年 1 月から運用開始予定）
実績	平成 29 年 7 月から始まる各機関との情報連携等、マイナンバー制度の本格稼働に向けて必要な調整を行った。 また、マイナポータルに登載予定である「子育てワンストップサービス」の導入に向けて、関係各課と協議を行い、必要な準備を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	外郭団体等の経営健全化の促進を図るため、市長の調査権が及ぶ団体について、団体の事業や財政状況、経営の健全性を「点検・評価」する仕組みの構築に向け、検討を行う。
実績	各外郭団体等にて策定した「中期経営計画」の進捗管理を行う等、各団体における経営改善に向けた取り組みを進めた。また、外郭団体等における事業や財政状況、経営の健全性等を「点検・評価」する仕組みの構築に向けた検討を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	鏡伝池緑地（市民の森）、市営テニスコート（藤阪東町・春日）への指定管理者制度導入に向けた所要の手続きを進める。
実績	枚方市立生涯学習市民センター・図書館の複合施設のうち2施設（蹉跎・牧野）については、平成28年4月から指定管理者による管理運営を行った。また、平成29年度からの指定管理者制度の導入に向け、鏡伝池緑地及び市営テニスコート（藤阪東町中央公園、春日）について、新規導入手続きを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
41. 指定管理者制度における基本方針の策定及び運用	民間活力活用業務の評価・検証（指定管理者制度導入事業）を実施し、その結果を踏まえたうえで、指定管理者の選定における競争性の確保など、指定管理者制度に関する基本方針を策定する。
実績	指定管理者制度導入事業のうち3事業を対象に、民間活力活用業務評価員会議において評価・検証を実施し、当該会議で得られた意見等を踏まえ、制度運用における課題への対応方や制度導入から管理運営における基本事項などを示した「枚方市指定管理者制度に関する基本指針」を平成29年3月に策定した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
46. スリムで機動力を持った組織・業務執行体制の確立	部を中心とした、より効率的かつ機動的な業務執行を図るため、「事業部制」の導入について検討する。 あわせて、市政の重要課題等に組織横断的に対応するプロジェクトチームについて、機動力と実効性をさらに高めるため、機能の充実を図る。
実績	事業部制の導入及びプロジェクトチームの機能充実に向けて、他市状況の調査等を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
47. 業務改善制度の推進	「枚方市業務改善制度」に基づく取り組みを通じて、庁内の活性化を図るとともに、職員の改善意識の向上を図る。
実績	各職場における業務改善の取り組みの一層の推進を図るため、業務改善事例集の発行、研修の実施及び改善事例の表彰等、制度に基づく取り組みを行った。また、これまでの取り組みによる成果と課題を踏まえ、平成 29 年度から褒賞区分の創設及び対象の拡大等の一部見直しを行った。 その他、制度の愛称を「ぷらわん化、ぷらわん活動」に決定した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

## (2) 業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
各事業のマニュアル作成	業務内容についてマニュアル化を進め、効率的な業務の推進を図る。
実績	前任者からの引継ぎ内容を踏まえながら業務に関わる中で発生する課題等を整理した上で、必要に応じてマニュアルを作成するとともに、業務の考え方などの基準を随時更新し、効率的に業務を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
効率的な業務処理による業務効率の向上	業務効率の向上に向け、職場の整理整頓、書類等の適正な管理、仕事の流れや人の動線を考えた書類の収納や机・書庫の配置を行う。また、仕事の優先順位を考え、所属職員相互の連携を図るよう努める。
実績	業務を効率的に処理していくために、書類や物品等の整理を徹底するとともに、レイアウト等の変更の際には、机・書棚等の配置を工夫することで作業動線を短くした。また、職員同士での対話や定期的なミーティングを行い、仕事の進捗状況、優先順位等を常時共有して連携することで、効率的に業務を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
担当職員による業務のプレゼンテーション形式での発表	担当職員ごとに業務の進め方について、プレゼンテーションを実施することで、幅広い議論を行い、職員間の情報の共有化を図る。
実績	業務の進め方について見直す際に、担当職員によるプレゼンテーションを行い幅広い議論を行うことで、職員間において各業務の考え方や課題についての情報共有を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### 3. 予算編成・執行

- ◆市民の定住促進意識の向上を図るだけでなく、特に市外の方を対象に本市への転入意識を高めってもらうために、市の魅力を強くPRしていくための委託料や、リーフレット製作などの経費として220万円を予算計上しました。これらの経費については、関係部署と連携し、本市の重要課題である人口減少に歯止めをかけられるよう効果的な執行に努めます。

実績	市民の定住促進、転入意識を高めるため、子育て世代を対象としたPRとして、子育て施策を中心とした本市の事業を紹介するために、大阪・京都・兵庫エリアの保育園に通う子どもの親を読者層とする地域情報誌への記事広告の掲載や定住促進リーフレットを作成しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆民間活力活用業務の評価・検証や指定管理者選定委員会の運用に係る委員報酬、業務改善制度・職員提案制度の推進、コールセンターの運営など、約3800万円を予算計上し、必要最小限の経費としました。

実績	民間活力活用業務の評価・検証や指定管理者選定委員会の運用に係る委員報酬、業務改善制度・職員提案制度の推進、コールセンターの運営などの経費については、必要最小限の予算執行に努め、効率的な運用を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### 4. 組織運営・人材育成

- ◆部内職員一人ひとりが常に「効率化」を考え、業務の進め方を見直し実践することで、効率的な組織運営を図ります。

実績	業務に関わる中で発生する課題等について、前任者と情報共有を行いながら、必要に応じて業務の考え方などの基準を更新し、効率的に業務を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】



- ◆事務内容や新たな取り組み課題に係る企画案等について、担当職員がプレゼンテーション形式で発表を行い、知識・認識等の共有化を図るとともに計画的な事務執行に繋がります。また、これらを通じて、自らが考え行動する自律型職員の育成を図ります。

実績	事務内容や新たな取り組み課題に係る企画案等について、担当職員がプレゼンテーション形式で説明を行い、職員間で情報共有を行うとともに、議論を行うなかで出てきた意見を踏まえ、より計画的な事務執行に繋がりました。また新たな取り組み課題に係る企画案等についてプレゼンテーションを行うことで、各担当職員が積極的に市政への知識や理解を深めるとともに、説明能力の向上にもつながりました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

## 5. 広報・情報発信

- ◆市の魅力を情報発信

定住促進や人口誘導の推進を図るため、特に転出者が多い20歳から40歳前半の年齢層を対象として、本市の魅力等を情報誌に掲載するとともに、ターゲットを絞ったリーフレットを作成し、市内外に情報発信します。

実績	定住促進や人口誘導の推進を図るため、20歳から40歳前半の年齢層の中でも、特に子育て世代を対象とした情報発信を行いました。子育て施策を中心とした本市の事業を紹介するために、大阪・京都・兵庫エリアの保育園に通う子どもの親を読者層とする地域情報誌への記事広告の掲載や定住促進リーフレットを作成しました。定住促進リーフレットについては、市のホームページやSNSへの掲載や、子育て世代が多く訪れる住宅展示場や各種イベントに出展するなど、市内外への情報発信を行っています。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆予算編成過程等の公表

行政運営の最も重要となる予算編成や実行計画等の査定に係る資料を新たに公表するとともに、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗を年度途中でホームページにおいて公表し、市民との情報共有を進めます。

実績	5月にホームページのトップに専用バナーを設け、実行計画及び予算、市長への提言、部の運営方針、審議会、特別顧問等及び戦略会議に係る情報を公表、順次更新しました。また、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗状況を年度の間（10月）に公表し、各施策・事業の課題解決に向け、市民とのより早期の情報共有に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

◆行政改革に関する情報発信

行政改革に係る取り組みを伝える「行革かわら版」の発行等を通じて、市民にわかりやすくタイムリーに情報発信します。

実績	事務事業や補助金の見直し、民間活力活用業務評価・検証等、行政改革に関する情報について、「行革かわら版」としてまとめ、市ホームページに掲載し、広く情報発信しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】